



## C2022-02 祈りの秘訣

### [今月の聖書]

#### 第一ペテロ 4:7-8

4:7 万物の終りが近づいている。だから、心を確かにし、身を慎んで、努めて祈りなさい。4:8 何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおふものである。

#### ローマ 8:26

御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。

#### マタイ 7:7-8

7:7 求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

7:8 すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

#### ヤコブ 1:5-8,17

1:5 あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず、惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。1:6 ただ、疑わないで、信仰をもって願い求めなさい。疑う人は、風の吹くままに揺れ動く海の波に似ている。1:7 そういう人は、主から何かをいただけるもののように思うべきではない。1:8 そんな人間は、二心の者であって、そのすべての行動に安定がない。1:17 あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいうものはない。

#### ルカ 18:1

また、イエスは失望せずに常に祈るべきことを、人々に譬で教えられた。

#### イザヤ 59:1-2

59:1 見よ、主の手が短くて、救い得ないのではない。その耳が鈍くて聞き得ないのでもない。59:2 ただ、あなたがたの不義があなたがたと、あなたがたの神との間を隔てたのだ。またあなたがたの罪が主の顔をおおったために、お聞きにならないのだ。

#### 列王上 17:19-22

17:19 エリヤは彼女に言った、「子をわたしによこしなさい」。そして彼女のふところから子供を取り、自分のいる屋上のへやへかかえて上り、自分の寝台に寝かせ、17:20 主に呼ばわって言った、「わが神、主よ、あなたはわたしが宿っている家のやもめにさえ災をくだして、子供を殺されるのですか」。17:21 そして三度その子供の上に身を伸ばし、主に呼ばわって言った、「わが神、主よ、この子供の魂をもとに帰らせてください」。17:22 主はエリヤの声を聞き入れられたので、その子供の魂はもとに帰って、彼は生きかえった。

#### マタイ 18:19-20

18:19 また、よく言っておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。18:20 ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである」。

お元気で過ごしてでしょうか。今月は「祈りの秘訣」と題して祈りについて再度学んでみたいと思います。と言いますのは、私が 30 年間にわたってこの CF I のメッセージをお送りする中で、すでに度々このテーマを用いているのです。現代の不安な時期に、信仰を持っているお互いも力の不足を感じている方が多いのではないのでしょうか。また現状を甘んじて受け入れつつ、壁を破り、雲を吹き払い、神の奇跡を期待するような激しい祈りを忘れてしまっている時代ではないのでしょうか。

この祈りには当然信仰の裏打ちが問われます。この信仰は神の言葉から来るのです。そして聖書の言葉が聖霊のインスピレーションによって私たちの心の中に深くとどまる時、私たちの祈りが輝き始め、具体的に結果を生み出し始めます。それは「祈りの勝利」と言っても過言ではありません。

今日誰でも求める祈りの課題がたくさんあるでしょう。自分の信仰が明確になるように、救いの確信を持つことが出来るように、生活のために必要なものが与えられるように、人間関係において平和が与えられるように、あるいは病気が癒されるように、さらに新型コロナの感染が収束するように。また日本の国のために、世界の平和のために、次の時代の子供たちの救いのために、日本の教会の成長のために祈る方もあるでしょう。ただいま 10 の項目を挙げました。特にお互いの生活と信仰に関わることについては具体的に神様の力を必要とするのではないのでしょうか。

祈りについて多くの著書を残したバウンズ牧師は、「祈りの内容は簡潔で良いが、神と交わる時間は相当必要である」と述べています。今月あなたが深く神と交わることによって、祈りによる新たな開眼を経験されますようにお祈りしています。

(お知らせ)

二月の地区集会は休会と致します。一刻も早く再開出来ますようにお祈り下さい。

## ◆◆◆ CFI 会員投稿原稿 第83回 ◆◆◆

### 「真理に従って」

森 眞弓(神奈川県)

「だから、私たちは落胆しない。たとえ私たちの外なる人は滅びても、内なる人は日毎に新しくされていく。」(第二コリント 4: 16)

「主を仰ぎ見て、光を得よ」(詩篇 34: 5)。この一年このみことばに励まされて参りました。お祈りを感謝いたします。

コロナの初期に、コロナのお見舞い(喜寿の祝い)と徳島の小中高と一緒にいた友から、手作りの半纏を贈ってもらってからの交流の再開に感謝して、クリスマスのDVDを送りましたところ、「まゆみちゃんの神様は、ほんとに幸せをくださる神様なんだね。幸せを分けてもらってありがとう。中学時代のハレルヤコーラス、パートごとに、狭い音楽室で練習したわね」などと、遠い昔の話になりました。彼女は脳性麻痺の息子さんの介護に疲れを覚えながらも、皆さんへの愛の手を休ませることなく働いておられます。主が目を留めてくださっていることに感謝いたしました。

今年はメサイア・コンサートがコロナ禍で持たれませんでしたので、昨年私を会場まで送迎して下さったヘルパーさんに、クリスマスプレゼントとしてDVDを差し上げました。中学時代にコーラス部だった彼女は、「やったー!ありがとう」と喜んでくださいました。毎週一回、お風呂介助に来てくださり、歪んで曲がった体を温め、ほぐし、しっかり立たせてくださいます。私の体は彼女の魔法の手のぬくもりで癒されています。もう一つのDVDは、今は西浦姉の所、次は木村姉、そして私の手元へと平安と喜びを伝えてくれます。

寒くて冷えて、体が縮まり、心も小さくなりがちな冬ですが、「まぶねの中に、うぶごえあげ」の讃美歌を口ずさみながら過ごしています。

年末の辞、「私たちは、真理に逆らっては何をする力もなく、真理に従えば力がある」(第二コリント 13: 8)を感謝いたします。2022年もよろしく願いいたします。

(年末のお便りから)



#### ◇投稿募集のご案内◇

皆様の原稿をお待ちしています。

毎月のCFIニューズレターの裏面に順次掲載させていただきたいと思っております。

- ・すくい体験のあかし
- ・個人的願いや祈り
- ・信仰生活のあかし
- ・主にある交わりのレポート
- ・最近気づいたことや発見したみことば
- ・CFIメッセージの感想や教えられたこと

何でも結構です。800字程度で、手紙、ファックスかメールで送ってくだされば幸いです。